

(現在、講演タイトル等は調整中のため変更となることがあります。2026年3月3日)

IFLA・障害者放送協議会 国際シンポジウム「アクセシブルな図書館・情報サービス」プログラム案 2026年3月11日、東京

開会セッション (10:00-10:45、45分間)

司会：野村美佐子

開会の辞：竹下 義樹 (障害者放送協議会会長、弁護士)

開会挨拶：ダニエレ・ミラー (IFLA/LPD 議長、ワシントン州録音・点字図書館 館長兼地域図書館長、アメリカ)

基調講演：石川 准 (国連障害者権利委員会元副委員長、静岡県立大学 名誉教授)

(休憩：10:45-11:05)

セッション 1：情報アクセシビリティ確保のための法的アプローチ (11:05-12:05)

司会：クリスティアン・フェルスマン (ドイツ)

フィンランドにおける欧州アクセシビリティ法 (EAA)：ヘンリッカ・コッキ (アクセシビリティ図書館セリア、フィンランド)

イタリアにおける EAA (オンライン登壇)：エリザ・モリナリ (LIA、イタリア)

米国障害者法 (ADA) タイトル II について：ジェイソン・プロトン (米国議会図書館 視覚障害者図書館、アメリカ)

セッション 2：マラケシュ条約 (MVT) の実施：グローバルな視点 - 影響と重要性 (12:05-13:05)

司会：ヤスミン・ユセフ (エジプト)

WIPO ABC (Accessible Books Consortium) の取り組み：ディベンドラ・マノチャ (DAISY コンソーシアム、インド)

エクアドルでのマラケシュ条約実施に向けた国際協力：河村 宏 (支援技術開発機構、日本)

ビデオプレゼンテーション：パブロ・レクオナ (アルゼンチン)

(昼食：13:05-14:00)

セッション 3：図書貸出サービス以外の図書館情報サービス (14:00-15:00)

司会：ダニエレ・ミラー (アメリカ)

司会者が『新 LPD ガイドライン』の第 8 章～第 12 章の概要を提示

発表者による各国の好事例の紹介

- ・サスキア・ポーツ (印刷障害のある方のためのフランドル図書館、ベルギー)
- ・クリスティアーネ・フェルスマン (ドイツアクセシブル読書センター、ドイツ)
- ・ハンネ・クリスティン・リー (ノルウェー国立図書館、ノルウェー)
- ・ミョンスク・キム (国立障害者図書館、韓国)

(休憩：15:00-15:15)

セッション 4：今後の展望に関するパネルディスカッション (15:15-16:20)

モデレーター：河村宏 (日本)

パネリスト (オンライン参加)：アリス・オライリー (米国議会図書館 視覚障害者図書館[NLS]、アメリカ)

パネリスト：ジェームス・バートレット (英国王立盲人協会[RNIB]、イギリス)

発表後、全参加者によるディスカッション

総括：ダニエレ・ミラー（シンポジウムの成果まとめ）

閉会：（16:20-16:30）

司会：野村美佐子

閉会の辞：障害者放送協議会（手話による閉会挨拶が望ましい）